

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【公開番号】特開2018-57676(P2018-57676A)

【公開日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2016-198690(P2016-198690)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月11日(2019.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定条件の成立に基づいて行われる判定の結果が特定結果になると、遊技媒体を獲得可能な特定遊技を実行可能な遊技制御手段と、

所定の演出モードで演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機であって、

前記特定遊技には、第1特定遊技と、前記第1特定遊技と異なる第2特定遊技と、を含む複数種類の前記特定遊技があり、

前記遊技制御手段は、前記特定遊技の後に、前記判定において前記特定結果になる確率が通常の確率である通常確率状態または該通常確率状態より前記特定結果になる確率が高い高確率状態にて遊技を制御可能であり、

前記演出モードには、通常の通常演出モードと、前記高確率状態にて遊技が制御されている可能性が高いことを示唆する特定演出モードと、を含む複数種類の演出モードがあり、

前記演出制御手段は、

前記第1特定遊技が実行された後に前記高確率状態にて遊技が制御される場合、該第1特定遊技の後の演出モードとして前記特定演出モードを設定する第1特定演出モード設定手段と、

前記第1特定遊技が実行された後に前記通常確率状態にて遊技が制御される場合、該第1特定遊技の後の演出モードとして前記特定演出モードを設定する第2特定演出モード設定手段と、

前記特定演出モードにおける前記判定で前記特定結果となって前記第2特定遊技が行われ、該第2特定遊技が実行された後に前記高確率状態にて遊技が制御される場合、該第2特定遊技の後の演出モードとして、前記特定演出モードと前記高確率状態が設定されている可能性が異なることを示唆する特殊演出モードを設定する特殊演出モード設定手段と、を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の遊技機は、上記課題を解決するために、

判定条件の成立に基づいて行われる判定の結果が特定結果になると、遊技媒体を獲得可能な特定遊技を実行可能な遊技制御手段と、

所定の演出モードで演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機であって、

前記特定遊技には、第1特定遊技と、前記第1特定遊技と異なる第2特定遊技と、を含む複数種類の前記特定遊技があり、

前記遊技制御手段は、前記特定遊技の後に、前記判定において前記特定結果になる確率が通常の確率である通常確率状態または該通常確率状態より前記特定結果になる確率が高い高確率状態にて遊技を制御可能であり、

前記演出モードには、通常の通常演出モードと、前記高確率状態にて遊技が制御されている可能性が高いことを示唆する特定演出モードと、を含む複数種類の演出モードがあり、

前記演出制御手段は、

前記第1特定遊技が実行された後に前記高確率状態にて遊技が制御される場合、該第1特定遊技の後の演出モードとして前記特定演出モードを設定する第1特定演出モード設定手段と、

前記第1特定遊技が実行された後に前記通常確率状態にて遊技が制御される場合、該第1特定遊技の後の演出モードとして前記特定演出モードを設定する第2特定演出モード設定手段と、

前記特定演出モードにおける前記判定で前記特定結果となって前記第2特定遊技が行われ、該第2特定遊技が実行された後に前記高確率状態にて遊技が制御される場合、該第2特定遊技の後の演出モードとして、前記特定演出モードと前記高確率状態が設定されている可能性が異なることを示唆する特殊演出モードを設定する特殊演出モード設定手段と、を有することを特徴とする。